

社会福祉法人 明徳会 広報誌

VOL. **101**

2018 OCT

Challenge News

特集

熱中しているモノ・コト

コラム

障がい者の高齢化を考える

予告

めいとくフェスタ・ハピネスランド



社会福祉法人 明徳会
SOCIAL WELFARE COMPANY
MEITOKUKAI

特集

熱中しているモノ・コト

熱中している monokoto 01

RogCafe

松下 理恵さん

「コーヒー」と「接客」

P.03 >



熱中している monokoto 02

就労継続支援B型

T・Hさん

甥っ子へのおもちゃ作り

P.04 >



熱中している monokoto 03

ゆめくらしワークス事業部

内田 支援員

子育てと仕事の両立

P.05 >





私が monokoto.01
熱中しているモノ・コト

「コーヒー」と「接客」

RogCafe 松下 理恵さん

カフェのおやつ作り、接客、食器洗いなどを担当しています。いつも明るい笑顔と笑い声で接客しています。

現在、コーヒーを淹れることができるようになったので、接客をやってみたいと思い、練習をしています。接客をする日は朝から楽しみで、お客さんに「おいしい」と言ってもらえると私もとても嬉しくて、「次も頑張るぞ!」と思います。



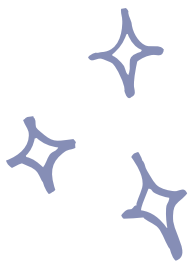
私が monokoto.02
熱中しているモノ・コト

甥っ子へのおもちゃ作り！

就労継続支援B型 T・Hさん

生活訓練から利用開始され、現在はB型5年目。主な仕事内容は、受注の作業や、手作りふりかけなどを担当。

甥っ子の笑顔が私の喜び——
甥っ子は私の作るおもちゃを毎回楽しみに待っています。プレゼントしたおもちゃで遊ぶ時は、いつも私の膝の上です。甥っ子の嬉しそうな笑顔をみると、次は何にしようかな♪と私の楽しみにつながっています。



私が monokoto.03
熱中しているモノ・コト

子育てと仕事の両立！

ゆめくらしワークス事業部
就労継続支援B型 内田 支援員

受注作業支援や製品開発など就労継続支援B型で活躍。2児の母として子育ても奮闘中！



1日1回以上抱きしめる——
仕事をしながらの育児や家事はとても大変ですが充実しています。
淋しい思いをさせている所もあると思います。
だから1日1回以上抱きしめるように心掛けています。



支援の現場から

チャレンジめいとくの里
なごみグループ W・Kさん

趣味・好きなこと:好きな歌の歌を聴く
ことや動画を観ること♪

チャレンジめいとくの里 なごみグループ
今井 支援員(勤務:9年目)

趣味・好きなこと:本屋巡り・スポーツ観戦

『Wさんと今井支援員の絆』

Wさんは、他のご利用者様や職員と話すことや、好きな歌手の歌を聴くことが大好きです。

今井支援員は、3年前から担当支援員としてWさんと一緒に過ごしています。今では、今井支援員が不在の際「今井さんは？」と尋ねられるほど、信頼関係を築けています。

『スカイプの楽しみ』

Wさんは、以前は頻繁にご自宅に帰省されお母様と過ごされることを一番の楽しみにされていました。しかし熊本地震の影響により、ご家族と離れることになり、帰省ができなくなりました。最初はお母様に直接に会いに行く予定でしたが、遠方であるためそれも困難でした。そこで、スカイプを使用して、お母様の顔を見ながら会話をすることになりました。遠方にいるお母様が近くにいるように感じられ、今ではスカイプの時間を、とても楽しみにされています。

スカイプとは

インターネットを使用した
無料ビデオ通話サービスのこと



『タブレットの楽しみ』

スカイプを始めた当初は、今井支援員から「Wさん。スカイプでお母様に連絡しませんか」と声を掛け、スカイプでお母様との会話を楽しまれるだけでしたが、徐々にタブレットの使用にも慣れてこれらスカイプだけでなく、自分自身の楽しみとして、好きな歌手の歌を聴いたり、動画を見られるたりと使い方を覚えられ、今では夕食後などの余暇時間に「タブレットを貸してください」と支援室に尋ねてこれられるようになりました。

『これからの楽しみ』

タブレットを通して、お母様やご家族と会話をされることも増え、お母様はWさんの顔を見る事ができた事で安心され、さらに会いたいと思う気持ちがでてこれました。そこで今後は直接お母様に会いに行く事を検討していきます。

私たちが仕事の中で考えてることを綴ります

明徳会のコラム

障がい者の高齢化を考える

知的障がいのある方の高齢化の問題は当法人でも、ご利用者様自身の高齢化の問題及びご家族の高齢化の問題など、二つの側面から考える必要があると考えています。今回、この二つの側面について考えてみたいと思います。

知的障がい者の高齢化

全国の障がい者支援施設入所者65歳以上の方について、のぞみの園の平成24年度データによると、全国の知的障がい者数74万1千人のうち、障がい者支援施設入所者で65歳以上の方は1.3万人、17.5%となっています。そして、その割合は年々増加傾向にあります。また、全国知的障がい児者施設・事業実態調査報告書によると、平成25年では1096施設の82%が高齢化・老化が問題になっていると回答しています。

知的障がいのある方の高齢化問題は、高齢化に対応した支援、認知症に対する支援、また、ご家族の高齢化に対する対応（親亡き後の生活・親あるうちの準備）などが課題となっています。

また、高齢化は“心身の機能低下”によりこれまで参加していた日中活動への参加ができにくくなったり、通院が多くなったり、日常生活のさまざまな場面での個別での支援度が高くなったりします。さらに、最近では、知的障がいのある高齢者の認知症罹患によるさまざまな問題や課題が浮かび上がってきています。

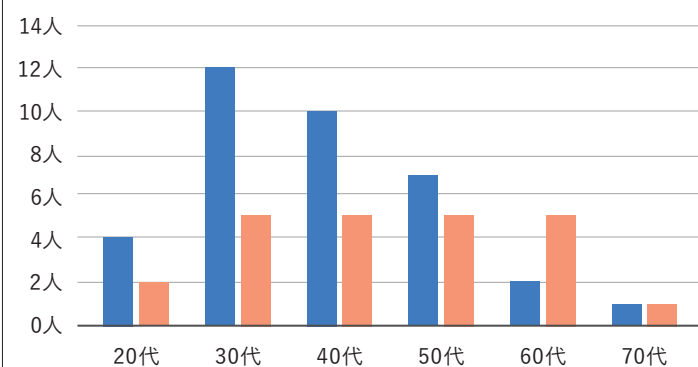
明徳会での高齢化の様子

平成30年度入所・入居者の年代別階層は、障害者支援施設チャレンジめいとく の里及びグループホームのオレンジハウスの入所者50名・入居者9名、計59名の各年代別の階層は（図1）の通りです。59名のうち、男性の平均年齢は42.4歳、女性の平均年齢は48.9歳になっています。また、59名のうち、65歳以上の方は5名で高齢化率は8.5%で、全国平均を下回っています。しかし、年々、日常生活のさまざまな場面での個別での支援度の高い方が増加傾向にあります。

（図1）

入所・入居者様、年代別階層

■ 男性 ■ 女性



入所家族会と共に

明徳会では5年前から、「親亡き後の生活（親あるうちの準備）」を基本テーマに、入所家族会でのこの問題について話し合ってきました。外部の講師をお招きし、「エンディングノートの意味と書き方」、「ご利用者様入院時の対応」、「成年後見制度」、「遺言状の意味と書き方」、「ご家族が地域で生活するために」などのテーマで研修を行っています。今後も、引き続き、ご家族と共にご家族の高齢化について取り組んでいきます。さらに、ご利用者様の高齢への対応については、「心身の機能低下への対応」や「認知症への対応」などについて関係者をお招きして研修を深めたいと考えています。

（文責 平川貞）



入所家族会茶話会での研修の様子

先輩 対談 後輩

先輩職員 | 椿支援員

入社：4年目

趣味：ドライブ、一人カラオケ

こもれびグループリーダー、入所部マネージャーを兼任。新しいグループ作りに邁進中。新婚ホヤホヤ。

後輩職員 | 中島支援員

入社：2年目

趣味：ドライブ・料理

こもれびグループ所属。今年度は新人チューターとして、新人育成にも関わる。椿支援員とはコストコに一緒に買い物に行く仲。

第一印象は？

昨年度は新人・チューター（先輩職員による指導者制度）という関係だった椿支援員と中島支援員。今年度はめいどくの里のこもれびグループで一緒に働いています。今回は二人に、色んな話を聞いてみました。

椿

中島さんの第一印象は、周りの意見を尊重するあまり、自分の意見を伝えることが出来ないのではないかと心配していたよ。

中島

よく言われていた気がします。椿さんは、最初は物静かな方かなと思っていました。でも、積極的に話しかけてくれ、とても相談しやすいと感じましたね。

椿

そうなんだ。2年目の今は、言われた事は必ず遣り遂げ、仕事に対してもあまりミスをしていない印象だね。

中島

ありがとうございます。僕も椿さんの話し方を見習いたいと思っています。要点を押さえ、称賛は忘れない明るく理想の先輩像だと思っています。

椿

ありがとうございます。

明徳会に就職のきっかけ

中島

大学で開かれた就職説明会で明徳会のブースで話を聞いたことがきっかけです。ブースで話した職員の方が同じ大学出身だと聞いて施設見学に行ってみようと思いました。

椿

そうなんだね。私は、大学の教授からの紹介だったね。障がい者の方と関わる仕事をしたと思っていた事と同じ大学の卒業生が働いている事も知っていたので、安心して働けるかなと思って。

明徳会の魅力は？

中島 僕が感じた魅力は、同期や先輩との仲も良く、色々な場面で心強く感じます。

椿

そうだね。中島さんとは今は仕事だけでなく、プライベートでも付き合いがあるよね。

中島

はい、プライベートでも一緒に遊びに行くなどお世話になっています。椿さんはどんな所に魅力を感じていますか。

椿

私は、先輩職員方の支援スキルがとても高く、研修など通して学んだ事を現場に活かして、出来た事を広げて行こうとする風土が魅力だと思うね。

プロフェッショナルとしての流儀

中島

そうですね。自分をしっかり持って仕事も楽しむ事です。

椿

私は、入社当時に、先輩に『自分が楽しくないと、ご利用者様も楽しくないんだよ』と聞いて、ご利用者様が楽しく過ごす事を今でも心がけているね。

中島

楽しんでご利用者様と関わるって事は先輩方から引き継いでいることなんです。

椿

その気持ちが明徳会の支援のベースになっているかもね。

中島

僕もより楽しく充実した支援ができるように頑張っていきます。



ケア・ハピネス

移動動物園 In かじおハピロバ

7月16日にケア・ハピネスのかじおハピロバで移動動物園を開催しました。前もって地域の方々には新聞チラシで告知や、施設前に告知看板を設置したおかげで、当日は連日続く酷暑の中にもかかわらず、たくさんの方に来場いただきありがとうございました。おかげでたくさんの動物と触れ合う子供たちの楽しい声が響く時間となりました。また、楽しいイベントを企画しようと思いますので、その際にはぜひお越しください。



チャレンジめいとくの里 入所部

ミニ夏祭り

8月3日にめいとくの里にてミニ夏祭りを開催しました。今年もご利用様が楽しめるようにルーレットや射的など祭りに欠かせない出店を再現しました。出店でゲットしたカチューシャやうちわを持ってお祭り気分を満喫です。最後には打ち上げ花火を行い、ご利用様の笑顔で溢れる素敵な夏祭りになりました。



MEITOKUKAI NEWS



ゆめくらしワークス事業部

卒業後に働く生活を描くセミナー

今回は「発達障害のある方への就労支援」をテーマに7月27日に社会福祉法人と特別支援学校で企画し、セミナーを開催しました。

このセミナーは、障がいのある方やそのご家族が、卒業後の働く生活をイメージできるように就業生活の情報を届けることを目的に行っています。

近年は、一般校から発達障害のある方の就職相談が多くなってきたこともあり、今回お届けした内容は、卒業後に福祉サービスを使って就職した事例と、一般校在学中より支援者のサポートを受けながら就職活動した事例を発信しています。最後にゆめくらしワークスからも発表の機会を頂きました。



チャレンジめいとくの里 通所部

初めてのおやつ作り

ルアナグループでは今年度、得意な事から新しい活動を見つけていきたいと思いますということで造形活動内で様々な種類の粘土に触れる機会を持ちました。その際、皆さん丸めるのが得意な様子が見受けられたのでお菓子作りに繋がらないかと考え、7月におやつ作りを計画しました。混ぜる、丸めるといった工程を一緒に取り組まれ美味しいスノーボールクッキー作ることができました。今後も皆さんの特技を生かした活動を見つけ、広げていきたいと思っています。



第14回

Meitoku Festa

めいとくフェスタ

一緒にフェスタ

ご来場の皆様、ご利用者様、職員が
一緒に楽しむことができる、
めいとくフェスタを創ります！
皆様のご来場、心よりお待ちしております。

2018.10/27 SAT
10:30~14:30

抽選会

- 特賞** シャープ除加湿空気洗浄機
- 1位** インスタントカメラチェキセット
- 2位** ユニクロ商品券(1万円分)
- 3位** めいとく米30kg
- 自治会賞** ワークスギフトセット
レトルトカレー 2袋 3名様

こども抽選会

- ・ニンテンドースイッチ /1名様
- ・ニンテンドー2DS /2名様

ステージでの催し

- ・ほくぶ幼稚園様
- ・おひさまクラブ様
- ・3B体操様
- ・KCクワイヤー(ゴスペルチーム)様
- ・新人イベント



フード

- ・フランクフルト
- ・からあげ
- ・焼きそば
- ・フライドポテト
- ・タイ風からあげ
- ・ダージーパイ
- ・クレープ
- ・タピオカ





HAPPINESS LAND

2018 in CARE HAPPINESS

第3回ハピネスランド in ケア・ハピネス

ケア・ハピネスで楽しく過ごされている様子をご紹介します!

2018.11.24 sat AM 10:00 → PM 2:00

当日はイベントが盛り沢山

かわいい動物が
いっぱい移動動物園



白バイ体験



梶尾保育園様の
絵画展



移動販売車に
よる食バザー



車椅子展示
(三協車椅子様)



お芋の振る舞い





社会福祉法人 明徳会
SOCIAL WELFARE COMPANY
MEITOKUKAI



障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援 短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明徳町 707-1

Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344 c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 生活訓練 就労継続支援 B 型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343

meitokunosato-works@meitokukai.jp

障がい者グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明徳町 948-1

Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951 yumekurashi-orange@live.jp

障がい福祉サービス事業所

ケア・ハピネス

生活介護

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3

Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399 happiness@meitokukai.jp

熊本市障がい者相談支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒860-0844 熊本市中央区水道町 12-1 1-B 号

Tel. 096-312-3550 Fax.096-312-3551 soucha@meitokukai.jp

地域生活支援センター メイト

相談支援事業

※平成30年10月1日オープン

〒861-5503 熊本市北区明徳町 948-1

Tel. 096-227-6450 Fax.096-227-6451 mate@meitokukai.jp



明徳会公式サイト

明徳会フェイスブックページ

明徳会インスタグラム

ゆめくらしワークスフェイスブックページ

めいとく和（職員ブログ）

<http://www.meitokukai.jp>

<https://www.facebook.com/meitokukai>

<https://www.instagram.com/meitokukai>

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>

<http://ameblo.jp/meitokukai>

明徳会公式サイト

